



R.I. 第2620地区 静岡第1グループ  
三島西ロータリークラブ

# 週報

第2222号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F  
TEL(055)976-6351 FAX976-6352  
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹  
TEL(055)975-3210

会長 千葉 慎二 幹事 三田 明宏



広重版画より 三島 朝霧

## 第2292回例会

2020.11.5晴

司会 秋山恭亮君

国歌斉唱 四つのテスト

ロータリーの目的

ロータリーソング 「奉仕の理想」  
指揮 古屋英将君

会長挨拶 会長 千葉慎二君

新型コロナ関連の海外のニュースを聞くと、よく『エッセンシャル・ワーカー』という言葉を目にします。医療・介護従事者、公共交通機関、生活必需品小売、メディアやインフラに関わる職業の方々など、自らの感染リスクを負いながら、他の人々のため社会のために休むことができない、必須の職業についている方々を指します。国や家族を守るために、ウイルスならぬ銃弾飛び交う中に飛び出して行く兵士と同じように、こうした方々の献身的な活躍には心から感謝し、讃えたいと思いますし、本当に頭の下がる思いがします。しかし一方で、何度も聞いていると、私は自分の中にどこか不愉快な思いが湧いて来ることにも気付かされます。その訳を考えてみました。

『エッセンシャル』とは、『本質的な』とか『必要欠くべからざる』といった意味があります。自らを危険に曝し時には犠牲にしてまでも他の人のために尽くす人に感謝し讃えることには大賛成です。実は私の違和感の源は、『でもあなたはエッセンシャル・ワーカーではありませんよ、必要欠くべからざる職業ではありませんよ』とされているようで不愉快に思えてくることにありました。もちろん、『エッセンシャル・ワーカー』を讃える運動にそのような意味合いがある訳ではなく、私のひがみ根性だとは解っていますが、先日、朝礼で社員に言ってしまいました。病院を建てる人がいなければ患者さんは困るし、研究所や工場をメンテナンスしなければ薬や医療品を開発したり製造することができない。我々も、お客様の幸せづくりのお手伝いやお困りごとを解決することで『エッセンシャル』な、世の中になくてはならない仕事をしているという誇りを持って、と。

図らずもロータリーの本分である『職業奉仕』について考察したひと時となりました。

もう一つ。先週、浜松商工会議所青年部の懇親会の2次会で新型コロナのクラスターが発生しました。まだ判らないことだらけの新型コロナウイルスですが、やや判ってきていることもありませう。感染の多くは『接触感染』ではなく『飛沫感染』だということ、双方がマスクをすることによってその飛沫感染のリスクをかなりの割合で軽減できるということなどです。浜松の事例でも、70人がいた一次会では濃厚接触者がなく、26名の二次会の飲酒の場でマスクを外し、席を立てて移動したことが飛沫感染を生んだと新聞でも指摘されています。

ロータリーでもテーブル会の季節ですし、この後も忘年家族例会が控えています。『飛沫感染』を避ける、マスクを外したら席を立てないという、コロナの時代の飲み方をお楽しみ下さい。

### 出席報告

	出席総数	出席率	メンバーアップ	修正出席率
前々回	38/47	80.85%	41/47	87.23%
今回	44/49	89.80%	会員総数	51名

欠席者 秋元君、窪田君、杉崎君、藤江君、森藤君

### 幹事報告

幹事 三田明宏君

#### 1. 11月行事予定

①5日(木)呉竹 臨時総会 卓話 宇江喜 敦司君

②12日(木)呉竹 夜間例会

卓話 ロータリー財団委員長(フォーラム)

外部卓話 三島ロータリークラブ幹事 高木 基氏

③26日(木)呉竹 卓話 栗原 達治君

#### 2. 12月行事予定

①3日(木)呉竹 年次総会(理事・役員決定)

クラブ協議会(前期活動報告)

②10日(木)呉竹 夜間例会 クラブミーティング

担当 親睦活動委員会

③17日(木)18:00 みしまプラザホテル 忘年家族例会

2020~2021年度  
国際ロータリー会長  
ホルガー・クナーク

ロータリーは、機会の扉を開く

## おめでとう

会員誕生日 鈴木(郁)君、宇江喜君  
入会記念日 佐野君、関本(文)君、  
花房君、和田君  
奥様誕生日 和田君  
結婚記念日 桐部君

## スマイルボックス

- ◆和田君、腰を痛めていましたが、治りました。今日からまた皆様とお会い出来る様になりました。ありがとうございます。
- ◆柴崎君、伊豆フェルメンテ桐部社長、ジュレを沢山ありがとうございました。味噌もおいしいです。皆さんもどうぞ。

## 委員会報告

社会奉仕委員長 西本和夫君

ポリオ撲滅募金と街頭募金にご協力いただき、ありがとうございました。  
三島西RCでの¥45000-と4クラブ合同のポリオ撲滅街頭募金¥69659-を合わせて寄付させていただきます。

## 卓話

### 自己紹介(生い立ち)と徳島県の観光紹介

宇江喜敦司君

生年月日:昭和44年11月11日(50歳)  
出身地:徳島県(祖父:沖縄県、両親:徳島県)  
家族:妻、長男(高校生)、次男(中学生)  
同じ字を書く苗字は、全国に30世帯位。沖縄県、大阪府、埼玉県、徳島県、静岡県にいます。沖縄県が本拠地なのですが、沖縄出身の祖父が徳島県に移り住む。両親ともに徳島県出身、私も徳島県出身です。物心つく頃には、宮城県に居住しており、小学校に入学。その後、1年から1年半毎に転校、小学校6年間で5つの学校に通学。宮城県、徳島県、香川県、静岡県にある小学校に通いました。父の転勤が理由ですが、その後は父が単身赴任してくれて、静岡の地で中学、高校と進学することができました。父の単身赴任は、妹の「転校したくない」という両親への切実な訴えと父の「転校はかわいそうだ」との思いからですが、そのおかげで、この静岡の地にいられたのです。

高校卒業後は1年遅れて亜細亜大学に進学。バンド活動やバイクいじりなど遊び中心の学生生活でしたが、入学時に希望すれば誰でも行けるアメリカへの約5ヶ月間の留学が充実した良き思い出となっています。その期間にはパケーションを利用して西海岸中心に旅行もしました(今では英語は話せませんが…)。

大学卒業後は、清水銀行に入行。営業店一筋で13店舗に勤務。県内の東部、中部、西部地区、県外の店舗を経験、職務も内部事務、融資、渉外とバランス良く経験させていただきました。

### 2.徳島県の紹介

「阿波踊り」「鳴門のうずしお」「祖谷溪」

#### (1)阿波踊り

毎年、8月12日から15日に開催。踊り子は10万人にのぼり、観客等で100万人を超える熱気あふれたお祭りです。踊りのグループを「連」というのですが、有名連、学生連、企業連や商店街で組む連、飛び入り参加できる連、仲間で組む連があり、見て楽しい、踊って楽しいお祭りとなっています。男踊りの力強くダイナミックな自由に踊る姿と、女踊りの上品でしなやかな姿が楽しめます。踊り方には大きく三種類に分類されるようで「のんき調」「娯茶平調(ごちゃへいちょう)」「阿呆調」に分けられていてそれぞれに特徴があります。ゆったりとうちわを捌きながら踊ったり、提灯を持ちながら豪快に激しくリズムカルに踊ったりとそれぞれの特徴を楽しめます。余談ですが、徳島市内の小中学校では運動会で阿波踊りを踊るようです。私もしっかり練習した思い出があり、下手なりに踊れました。

#### (2)鳴門のうずしお

鳴門のうずしおは時間帯により見れたり、見えなかったり、大きさも何度も変わりますが、最大で渦の直径は30メートルに達すると言われ、世界最大規模と言われています。クルーズ船に乗り、間近で見られることもできますし、淡路島と鳴門を繋いでいる大鳴門橋の上から見学することも可能。迫力ある世界最大級の自然が生み出すうずしおを是非一度は見ていただきたいです。

#### (3)祖谷溪

日本三大秘境の一つ、「祖谷溪」の紹介。徳島県の最も西側にするとV字の谷の続く渓谷で圧巻の一言。そこには「かずら橋」という吊り橋があり、全長45メートル、幅2メートル、高さ14メートルに掛かる橋で、歩くとギシギシと音を立て、かなり揺れ、足場の木の間隔も広めはかなりスリル満点な橋となっています。子供の頃、渡ったことがあるのですが、勇気のいるし、渡り出したら戻れないと、怖かったのを覚えています。

四国へ、そして徳島へ旅行する際は、阿波踊りの時期に鳴門市から入り、うずしおを見て、阿波踊りを楽しんで、祖谷溪の絶景に感動と冷や汗をかかずら橋でスリルを感じる旅行を満喫して欲しいです。

最後にロータリークラブの会員となり、このご縁を大切に、先輩方から多くを学び、大きな心でロータリー活動していきたいと思っております。今後ともご指導、ご鞭撻のをほど宜しくお願い致します。ご静聴ありがとうございました。

※理事会報告は次号に掲載します。

(週報担当:赤池克斗)

三島西RCテーマ

ホップ、ステップ  
新たな飛躍に向けて足下を見つめてみよう